

東北地方太平洋沖地震への対応等

東北地方太平洋沖地震の概要

① 発生日時

平成23年3月11日 14時46分頃

② 震央地名

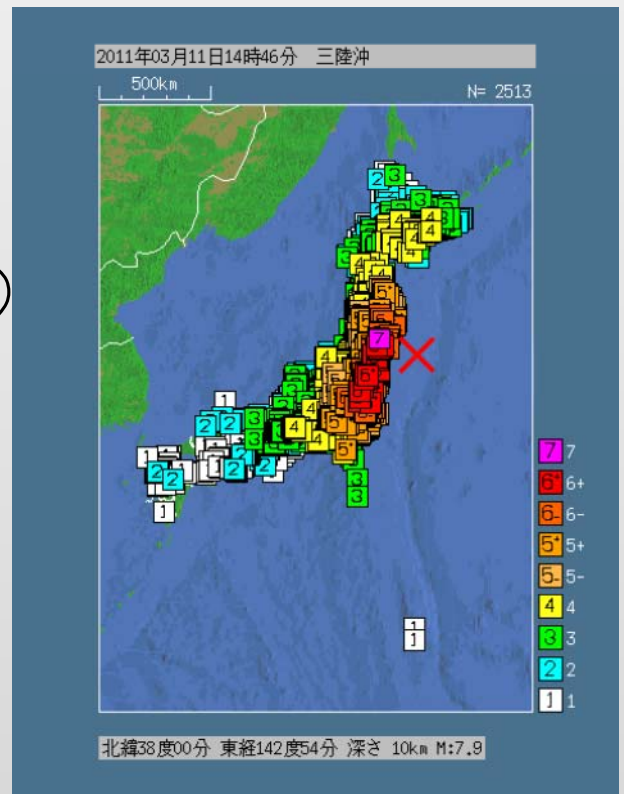
三陸沖(牡鹿半島東南東約130km)
(北緯38.1度、東経142.9度)

③ 震源の深さ

24km(暫定値)

④ 規模

マグニチュード9.0(暫定値)



⑤ 各地の震度(最大震度6弱以上)

震度7: 宮城県北部

震度6強: 宮城県南部・中部、福島県中通り・浜通り、茨城県北部・南部、栃木県北部・南部

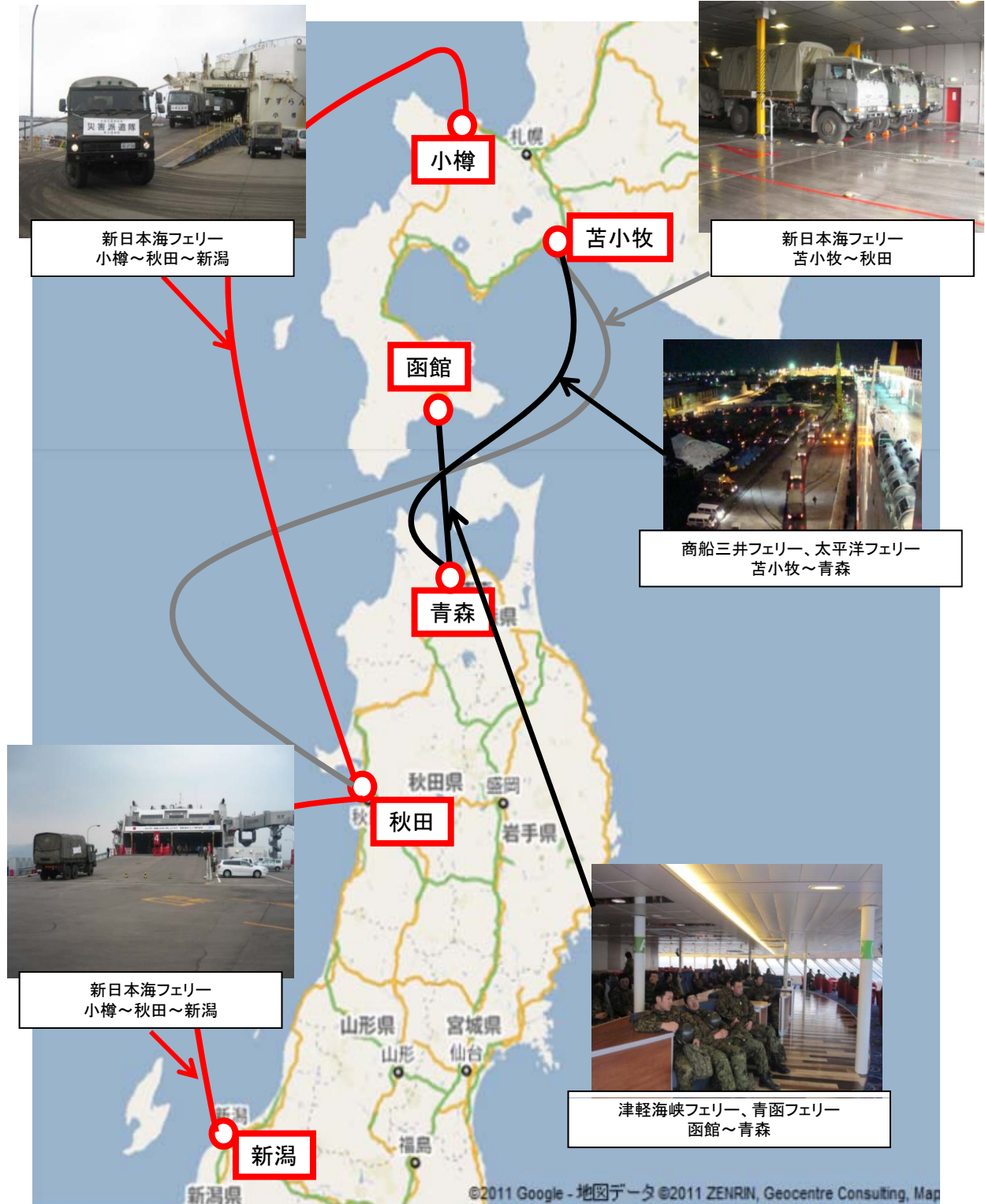
震度6弱: 岩手県沿岸南部・内陸北部・内陸南部、福島県会津、群馬県南部、埼玉県南部、千葉県北西部

⑥ 津波(主な検潮所の観測値)

宮古	8.5m以上	11日15時44分
相馬	7.3m以上	11日15時50分
大洗	4.2m	11日16時52分
釜石	4.1m以上	11日15時21分

フェリーによる災害復旧要員、車両等の緊急輸送

自衛隊より、フェリー会社5社に対し部隊及び車両の輸送について要請があり、12日より、北海道から東北日本海側への海上輸送を実施中（北海道警、道消防等の要員、車両も輸送）。計40便で自衛隊員等約10,400名、車両約3,500台を輸送。要請に応じ随時輸送を行う予定。



内航油送船による緊急輸送

緊急物資である油の内航輸送について、12日から日本海側ルートで、延78隻、燃料油約30万kl、原油2万kl、LPGガス等5千トンを送。21日から太平洋側ルートで、延5隻、燃料油約8千kl、プロパン380トンを送。(業界団体ヒア 22日出発分まで)



その他の対応について

(独)航海訓練所練習船の派遣による被災者の支援

①銀河丸が20日夕刻、宮古港に入港。生理食塩水、軽油を搬出。21日10時から避難所の被災者121名に、船内での炊き出し・入浴支援等を実施。22日も炊き出し・入浴支援等を実施後、15時東京向け出港。



②海王丸が21日朝、小名浜港に入港。21日から被災者に対して炊き出しを実施。23日は被災者50名を船に受け入れ、食事、入浴等を提供。また、原子力発電所関係者も受け入れている。

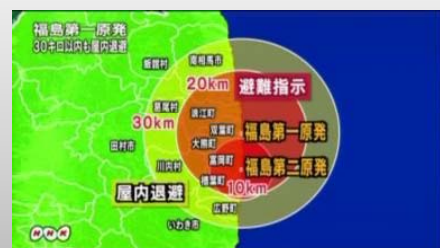


申請手続き等の特例措置

海技免状、船舶検査、雇入契約等の申請手続き等について、被災者向けに弾力的運用による特例措置を実施している。

航行区域に関する弾力的措置

福島原発沖の航行禁止区域の拡大によって沿海区域が遮断された場合、緊急避難的対応として当該航行禁止区域を迂回航行できることとした。



被災状況

旅客船の被害情報

旅客船事業については、多数の船舶の流出被害の他、社員（陸員・船員）の行方不明等に関する報告を受けている。一部の離島航路において限定的な運航再開を計画中。

造船所の被害情報

造船事業は、ほとんどの施設が壊滅的な被害を受けている。一部の造船事業者は復旧に向け作業開始。

